

ロボット

果戸 響子

「心滴」くん

# はじめに

医療用遠隔地コミュニケーションロボットの論文を見てから、対話型のロボットがそばにあれば退屈しないと感じた。

高齢者の姿勢は、支えがあったほうが楽に移動できる。

ロボットの時代は、以前から予想されていた。

「ロボット新戦略」が2015年1月末に公表された。

<http://iotjp.com/iotsummary/iottech/robot.html> WEBサイトより

# ロボット革命とは？

単なる作業ロボットから

ロボット自体が「自立化」「情報末端化」「ネットワーク化」により

- ①自ら学習し行動する
- ②自らデータを蓄積・活用する新たな自動化
- ③サービス提供の源泉ロボットが相互に連帯する

[http://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2015/honbun\\_pdf/pdf/honbun01\\_03\\_03.pdf](http://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2015/honbun_pdf/pdf/honbun01_03_03.pdf)

WEBサイトより

# 人とロボットが共存・協調する社会

## IoT時代のロボット

ITと融合し、ビッグデータ、ネットワーク、人工知能を使いこなせるロボット

### 私が提案した「歩行アシスト兼会話型ロボット」

- ◆ 少しずつ心を和ませる
- ◆ 片手で押すスタンド型
- ◆ バリアフリー、ユニバーサルデザインの空間、自宅
- ◆ 日程を教えてくれる
- ◆ 人工頭脳を持ったロボット
- ◆ ロボットを携帯できる人

# ロボット「心滴」くん

病院で、患者が点滴を受けているときにトイレや検査に行く場合使われている点滴スタンドをイメージしている。支柱型で上部に点滴溶液の容器をつけているものを、押して歩くものである。歩行時にハンドルも握りやすく、滑車もスムーズに押せる。これを利用して、歩行援助とコンピュータによる対話型ロボットを提案したい。



この図は、医療用のスタンドであるが、このようなイメージにする。

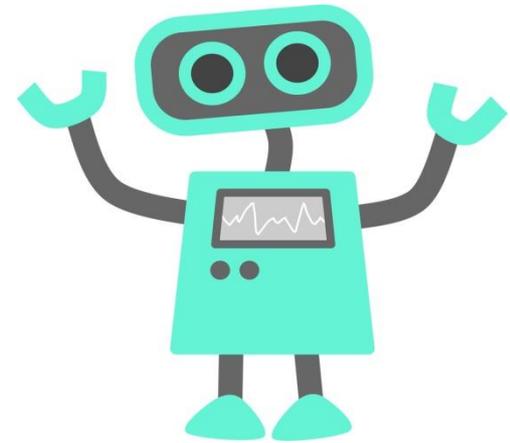
<https://www.bing.com/images/searchより>

# おわりに

コンピュータの内容については、専門家に任せたい。

自分の構想では、簡単な内容の会話ができるロボットで歩行時の援助になるイメージを持っている。ハンドルは、握り具合が良いものにして、普段に外出時に違和感のないものにする。

\* ハンドルの素材を洗練されたものにして高価さを出す。



**ご清聴ありがとうございました。**

